

平成30年第2回相馬市総合教育会議議事録

1 開催日時

平成31年2月21日（木）

開会 午後3時30分

閉会 午後4時30分

2 開催場所

相馬市役所 3階 庁議室

3 出席した構成員

相馬市長

教育長

教育委員

教育委員

教育委員

立谷秀清

堀川利夫

森陽子

関根進

菅野明彦

4 欠席した構成員

職務代理者

宗形明子

5 事務局関係

（相馬市）

企画政策部長

企画政策課長

企画政策課長補佐

宇佐見清

渡邊学

荒川誠

（相馬市教育委員会）

教育部長

生涯学習部長

総務課長

学校教育課長

学校教育課主幹

総務課庶務係長

阿部和夫

佐藤栄喜

只野聡一

渡邊義人

松本一宏

門馬優樹

6 傍聴人

なし

7 協議事項

（1）重点的に講ずべき施策について

①教職員の多忙化解消の取り組みについて

1）現在の取り組みについて

2）校務支援ソフトの導入について

3）部活動指導員の導入について

②幼稚園小学校中学校あり方検討会議の設置について

1）次年度の園児・児童・生徒数一覧について

2）あり方検討会議の設置について

③相馬市子ども科学フェスティバル事業について

④食育の推進について
(2) その他

8 議事の経過

1 開 会 (企画政策課長)

2 市長あいさつ

3 協 議

(1) 重点的に講ずべき施策について

①教職員の多忙化解消の取り組みについて

1) 現在の取り組みについて

○協議結果 報告事項のため、特段の意見なし

○協議内容

渡邊義人学校教育課長 (別紙資料により説明)

(委員から特に意見なし)

2) 校務支援ソフトの導入について

○協議結果 平成31年度は他市町村の動向を確認し、必要であれば平成32年度再検討する

○協議内容

渡邊義人学校教育課長 (別紙資料により説明)

立谷秀清市長 出欠管理、時間数管理については、器用な人はエクセルで管理できるため、コストのかかるソフトを導入するのはいかがなものか。また、実験段階のソフトを当市が先駆けて導入するリスクがある。良いか悪いか判断ができないソフトを導入して、ソフトに教職員が振り回される可能性がある。さらに、教職員の習熟度も考慮しなければならない。全教職員が使いこなせなければ、意味がないため、当市が先駆けて導入する必要があるのかどうか。

導入するとなると、全校一斉に始めるのではなく、一部の学校から導入することとなるが、他市町村の様子を見てから、ソフトの是非を検討したうえで当市は一斉に導入するというものでいいのではないか。

関根進教育委員 ソフトが必要なのは間違いない。健康診断系と一緒に管理するのはエクセルでは不可能ではないか。また、学校と市教育委員会との連携はできないのか。

渡邊義人学校教育課長 導入となると連携についても検討していきたい。現在、市と学校とのやり取りは電子メールと紙ベースで行っている。

立谷秀清市長 庁内 LAN と校内 LAN を連携させるのは大変。

菅野明彦教育委員 福島県が推奨しているソフトはあるのか

渡邊義人学校教育課長 推奨ソフトはあるが、現段階では調査していない。

菅野明彦教育委員 セキュリティ面も検討すべき。

立谷秀清市長 相馬がテスト的にやる必要はないと考えている。導入の時期は、平成31年度は一度他市町村の様子をみて、必要であれば平成32年度に全校一斉導入するという方向性でいいのではないか。

(委員から特に意見なし)

3) 部活動指導員の導入について

○協議結果 導入の定義づけやボランティア指導者への待遇等十分な検討が必要

○協議内容

渡邊義人学校教育課長 (別紙資料により説明)

立谷秀清市長 部活動(特に剣道)の指導者がいないため指導員を導入することと教職員の多忙化解消のために指導員を導入することは意味が違う。対象の部活動や学校はあるのか。

渡邊義人学校教育課長 技術的に教えることが困難な部活動、特に剣道について優先して今年度検討してきた。その後、学校の部活動のシステムに沿った人材が集まるのであれば、他の部活動にも広げていきたいと考えている。

立谷秀清市長 問題は、どういう場合に公費を出すのが適切なのか、そういったルールがないこと。県の助成制度があるから導入するのではなくて、必要な定義を決めたうえで検討すべき。再来年度の導入となれば、検討時間はまだ1年ある。平成32年度から始まるとなると、相馬市としてどれくらいの総事業費になるのか。

渡邊義人学校教育課長 各校1人配置する場合、平日は1日2時間、週3日の指導で32週間、休日は1日3時間の指導で35週間、長期休暇中(夏休み等)は1日3時間、15日間の指導として試算すると、各校1人50万円となる。中学校4校あるので200万円となる。

立谷秀清市長 ここで問題となるのは、指導員1人だけが50万円受け取れて、ボランティアで指導している人が無償となってしまう。特に剣道だけが技術的な面で指導員になるというのも理解できない。

渡邊義人学校教育課長 例として剣道を挙げたままで学校の実情を踏まえて臨機応変に対応することは可能。

立谷秀清市長 新しい指導員だけが50万円受け取れて、既存の指導者はそのままということでは理解が得られないのではないのか。ボランティア指導者についての待遇はどうするのか。正当な定義づけが必要になってくるため、簡単に結論付けはできない。

菅野明彦教育委員 指導員を決定するのは校長になるのか。また、指導員の資格のようなものはないのか。

渡邊義人学校教育課長 校長に決定権限がある。指導員資格のようなものはないので、学校や教育委員会で研修を受けさせなければならないし、人選面もかなり検討しなければならない。

立谷秀清市長 導入となれば再来年度からになるので十分な検討が必要。

②幼稚園小学校中学校あり方検討会議の設置について

1) 次年度の園児・児童・生徒数一覧について

2) あり方検討会議の設置について

○協議結果 幼稚園小学校中学校あり方検討会議を設置する

○協議内容

只野聡一総務課長 (別紙資料により説明)

立谷秀清市長 社会福祉課の「子ども子育て会議」との連携が必要。玉野小学校廃

校の際、協議会を設置して地域の声、保護者の声を聴いてきたが、先行事例であると考えている。磯部小学校と山上小学校の将来的な廃校検討が必要だとあるが、今は検討段階にない。また、どの地域でもこういった検討が必要となっていく。玉野小学校廃校の例だが、学校廃校となると地域の人は抵抗感がある。そのため、今から検討しておくという意味で会議を設置し保護者や地元住民に情報共有するということでよいのではないか。

(委員から特に意見なし)

③相馬市子ども科学フェスティバル事業について

○協議結果 今後も開催に向けて調整していく

○協議内容

松本一宏学校教育課主幹 (別紙資料により説明)

立谷秀清市長 予算はどのくらいか

松本一宏学校教育課主幹 現在、68万円の予算でそのうち補助金が42万円となる予定。

立谷秀清市長 その方向で頑張っていただきたい。

(委員から特に意見なし)

④食育の推進について

○協議結果 これからも検討を重ねていく

○協議内容

渡邊義人学校教育課長 (別紙資料により説明)

立谷秀清市長 朝食未摂取の生徒が学校の問題生徒となることが考えられる。これは、保護者の問題でもある。保護者への指導を徹底させるかどうかを検討しなければならない。食育の一番の目標はしっかり3食摂ること。朝食については、じっくり検討していき、未摂取がひどい場合は学校で朝食を出す等の検討もしなければならない。

森陽子教育委員 保護者に指導するより学校から生徒に朝食指導を行うべきではないか。

堀川利夫教育長 今後も検討を重ねてまいりたい。

(2) その他

(その他、協事項なし)